

監査結果の公表 (その3)

令和7年度定期監査(その3)を実施した結果(一部抜粋)を次のとおり公表します。



▲全文はこちら

茂原市監査委員 風戸 博恭
茂原市監査委員 岡澤与志隆

◆監査の対象
教育委員会、本納支所

◆監査の着眼点

各所管の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びにその他の事務の執行が法令等に適合し、適正かつ正確に行われているか、最少の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているかに主眼を置き監査を実施した。

◆監査の実施内容

各部署から提出された定期監査資料について、補助職員による予備監査を実施し、監査当日は、監査対象部署の長等から説明を受け、関係職員

に対して質疑を行うことにより実施した。

◆監査の場所

茂原市役所・新茂原幼稚園・茂原市立東部小学校

◆監査の期間

令和7年12月2日から令和8年3月4日まで

◆監査の結果

監査の結果、法令等に適合し、概ね適正に執行されていたが、一部検討が必要と認められる事項が見受けられたので、次のとおり掲載する。

〈教育委員会〉

○教育総務課

・総合教育会議は、市長と教育委員会が教育施策について協議・調整を行う場であることから、会議において共有された施策について庁内各課と連携を図りながら多くの施策が実現できるよう努められたい。

・令和8年4月より開始される公共施設等包括管理業務委託に伴い、学校施設の小破修繕業務が管財課へ移管されるが、教育環境の維持に直結する修繕業務が滞ることのない

よう、管財課と緊密に連携し、確実に業務が引き継がれるよう図られたい。

○学校教育課 学校給食センター

・質の高い教育を維持するためには、教職員の健康管理は非常に重要な課題である。健康管理の一環として行われているストレスチェックについてはその結果を統計的に分析・整理し、問題点の解決策に反映させることで、教職員が心身ともに健全な状態で児童生徒に向き合えるような教育現場となるよう努められたい。

・いじめのみならず児童生徒の様々な困りごとに対し、学校教育課、学校、青少年指導センターが密接に連携し、事案の早期発見と速やかな解消に向け情報共有を徹底されたい。

○生涯学習課

・本市の教育目標である「ふるさと茂原を愛し、豊かな心と高い志を持って未来を主体的に生きる人づくり」の具現化に向けた重点施策として、

令和8年4月に導入予定のコミュニティ・スクールについては、関係部署と密接な連携

体制を構築し、その実現に努められたい。

・図書館移転後の利用者数は移転前と比較し増加傾向にあるが、これを一時的なものにとどめず、利用者の要望や意見、指定管理者評価委員会による客観的な評価等により、更なるサービスの充実を図られたい。

○青少年指導センター

・相談者の属性や相談内容が多様化している現状に鑑み、女性相談員の配置について前向きに検討されたい。女性相談員の選任にあたっては、専門的知見を有する退職した教職員や外部人材の登用など、柔軟に対応されたい。

・小中学校でのSNS安全教室の更なる指導内容の充実を図るため、他機関等の実施内容を広く調査・研究するとともに、その成果を学校現場とも共有・協力し、最新情勢に即した指導をどの学校においても等しく提供できる体制を整えられたい。

○公民館

・公民館の自主グループは、

年間を通じて生涯学習や生きがいづくりに主体的に取り組む存在であることから、活動の継続性を担保するための優遇策や支援体制について検討されたい。

・公民館が社会教育の拠点機能が十分に発揮できていない現状に鑑み、現状の課題を精査し、公民館運営審議会の意見を積極的に聴取するなど、社会情勢の変化に即した地域コミュニティの中核としてのあり方について検討されたい。

○美術館・郷土資料館

・美術館収蔵品展においては、これまでの手法に加え、多くの方がより親しみを感じるテーマや新しい試みを取り入れ、美術館に足を運びたいという魅力ある展示を追求し、来館者の増加に繋がりたい。

・茂原市史編さん事業については、当初の予定より期間を要しているが、郷土の歴史を次世代へ繋ぐ重要な事業であることから、円滑に刊行が進むよう、事業費の確保に努めるなど所用の措置を講じられたい。